

理事長挨拶

学校法人 加計学園
理事長・総長 加計 晃太郎



平成23年の学園創立50周年を契機に創立者の掲げた建学の理念はもとより、新しい世代へ伝えて行きたい私学教育への思いを「加計学園フィロソフィ」として編纂しました。本学園の教職員一人ひとりが折りに触れてこの「加計学園フィロソフィ」に目を通し、創立者の教育にかけた情熱と意気込みを汲み取って自らのものとして涵養して欲しいと願っております。

さて、日本政府は、21世紀のわが国にふさわしい教育の再生をめざし、安倍内閣の最重要課題の一つとして教育改革を推進するため、教育再生実行会議や産業競争力会議において大学教育改革関連について審議しています。文部科学省は、平成25年3月15日開催の産業競争力会議で人材力強化のための教育戦略として ①成長戦略における大学の役割 ②大学を核とした産業競争力強化プラン ③初等中等教育段階からの世界トップレベルの学力・人間力強化／“グローバルJr.”の育成 ④産業構造変化に対応した学び直し・生涯学習機会の提供について発表しています。このほか「大学改革実行プラン」等に沿った諸施策を推進しています。

これらの教育政策の動向は、「学園NEXT100」に向けた取組みに追い風となるものが少なくありません。理工系教育等による質の高い人材育成、SSH、イメージ教育、海外交流等、学園がこれまで培ってきた教育研究資源を学校間の連携により質的に向上させて参りました。

教育面では、絶えず、時代と社会の変化に対応し、それぞれの設置校において新しい学部、学科、コースの開設や、従来の学部等の枠にとらわれない幅広い教育を行って参りました。さらに、教職員のより一層の連携強化を確立し、質の高い教育の場を提供することにより、多様な観点から思考し自ら学びあらゆる困難に果敢に立ち向かっていこうとする志の高い人材養成を目指しました。

新学部設置については、千葉科学大学看護学部設置認可申請を行いました。

また、海外の大学等の教育機関との交流協定をはじめとしたグローバル化に向けた取り組みは、本学園の一つの大きな特色であります。平成25年度は、こうした本学園にしかできない独自の教育研究事業の一層の充実を目指し、更なる改革を進めて参りました。なかでも、本学園主催による日本語弁論国際大会は、教育研究の場を通して国際交流に努めたいと願っていた創立者の思いを具現化することが出来るものであり、今後、より一層の充実を図っていきます。